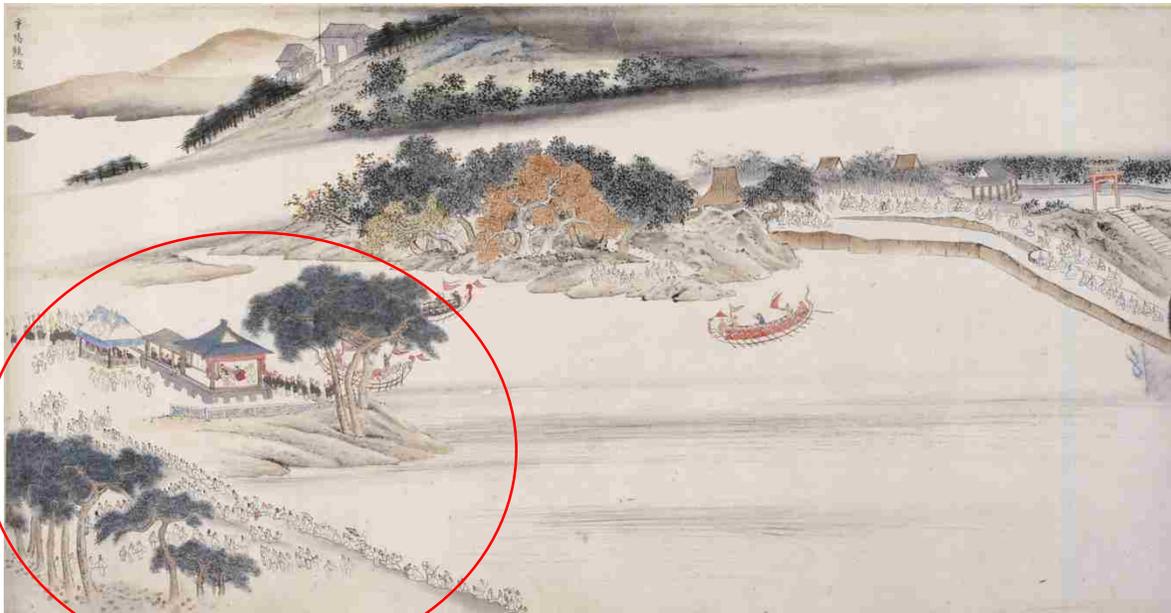


# 松崎馬場の植栽計画について

## (7) 植栽計画

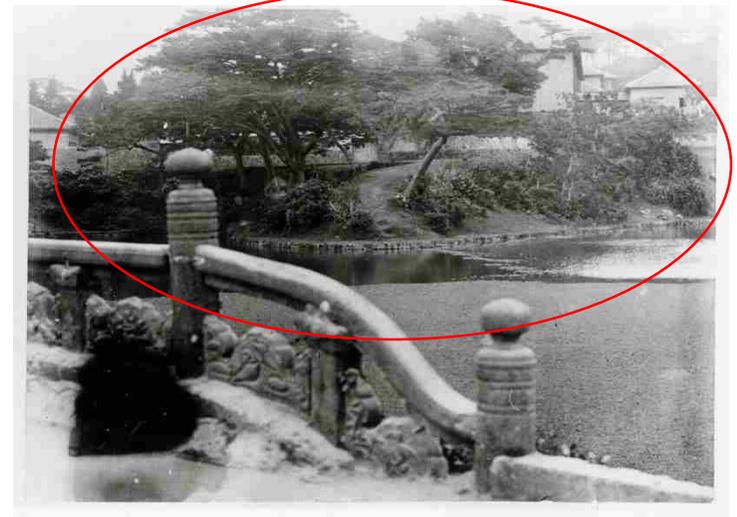
- 松崎馬場は、「冠船之時御座構之図」（重陽宴松崎之図）や、「奉使琉球図巻」（重陽競渡）では、「松崎」の名前のとおり、龍潭東側に松を主体とした樹木が並んでいる様子が描かれており、美観を意識した植栽がなされていた。
- 現況植生の調査や古写真等の分析を踏まえ、景観に配慮しながら、往時の植栽に近づける整備（松の植樹、往時にはない植物の撤去など）を行い、松並木景観の再現を目指す。



▲奉使琉球図巻（重陽競渡）（沖縄県立博物館・美術館所蔵）



▲戦前の首里/龍潭池の一带（日本名勝地誌（第11編 田山花袋編 明治34年12月9日発行）の裏書きあり）



▲龍潭池 世持橋（2枚とも那覇市歴史博物館所蔵）

## (参考) 現況及び「古都首里の風景のあるまちづくり」の松崎馬場のイメージ



現況



出典：NPO法人首里まちづくり研究会ホームページ

# 松崎馬場の植栽計画について ※中城御殿跡地整備基本計画検討委員会資料から抜粋

## 方針など

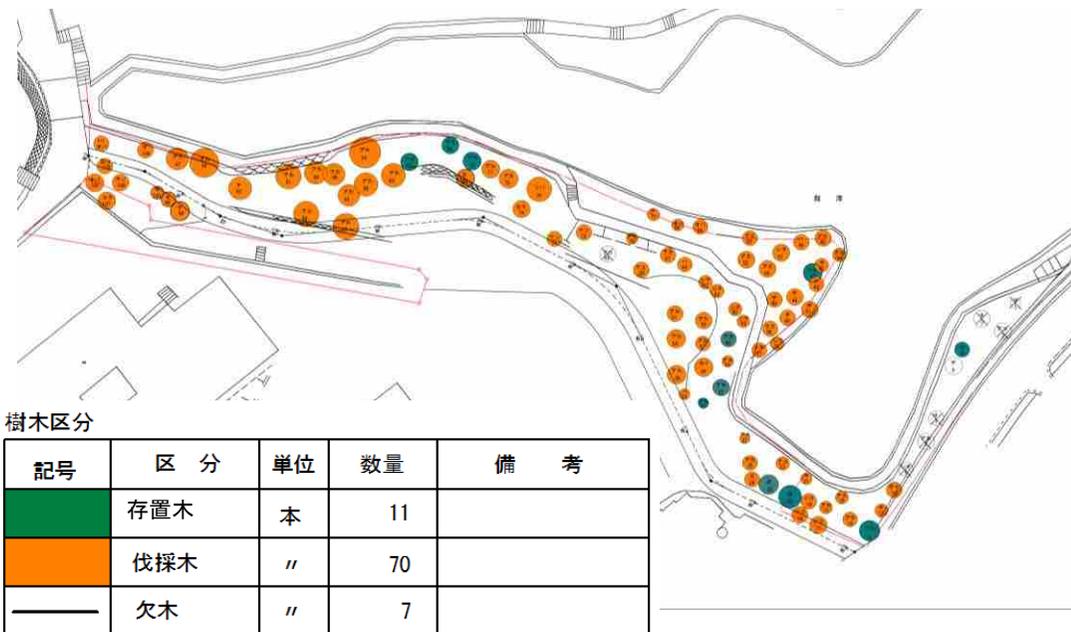
- 【撤去樹木】生育が安定し緑量感のある樹木を存置し、残る樹木は撤去することで、園路から龍潭の水面への眺望を確保する。尚、撤去については、段階的に撤去する。
- 【リュウキュウマツ植栽】リュウキュウマツは成木（幹周15cm、高さ2.5m～3.0m程度）を段階的に植栽する。また、要所に低木や草本を植栽し、園地景観の向上を図る。
- 【存置木の処分】リュウキュウマツは植栽後、樹姿の見栄えが良くなった段階で、存置木を伐採処分する。
- 【リュウキュウマツの追加植栽】段階的に撤去を行う際に、存置木の撤去後は緑の量感が減少することから、その都度、リュウキュウマツを補植する。

### 【存置木】

- ・県道(龍潭線)から龍淵橋付近を眺めた際に、園路構造物を遮蔽効果の高い樹木。
- ・景観面から龍潭と一体となって効果的な景観を保つ樹木。(枝が伸びて水面を飾っている樹木など)
- ・なお、枝ぶりが乱れたり、枝先が枯損したりしている場合は剪定を施し、良好な樹形を創る。

### 【伐採木】

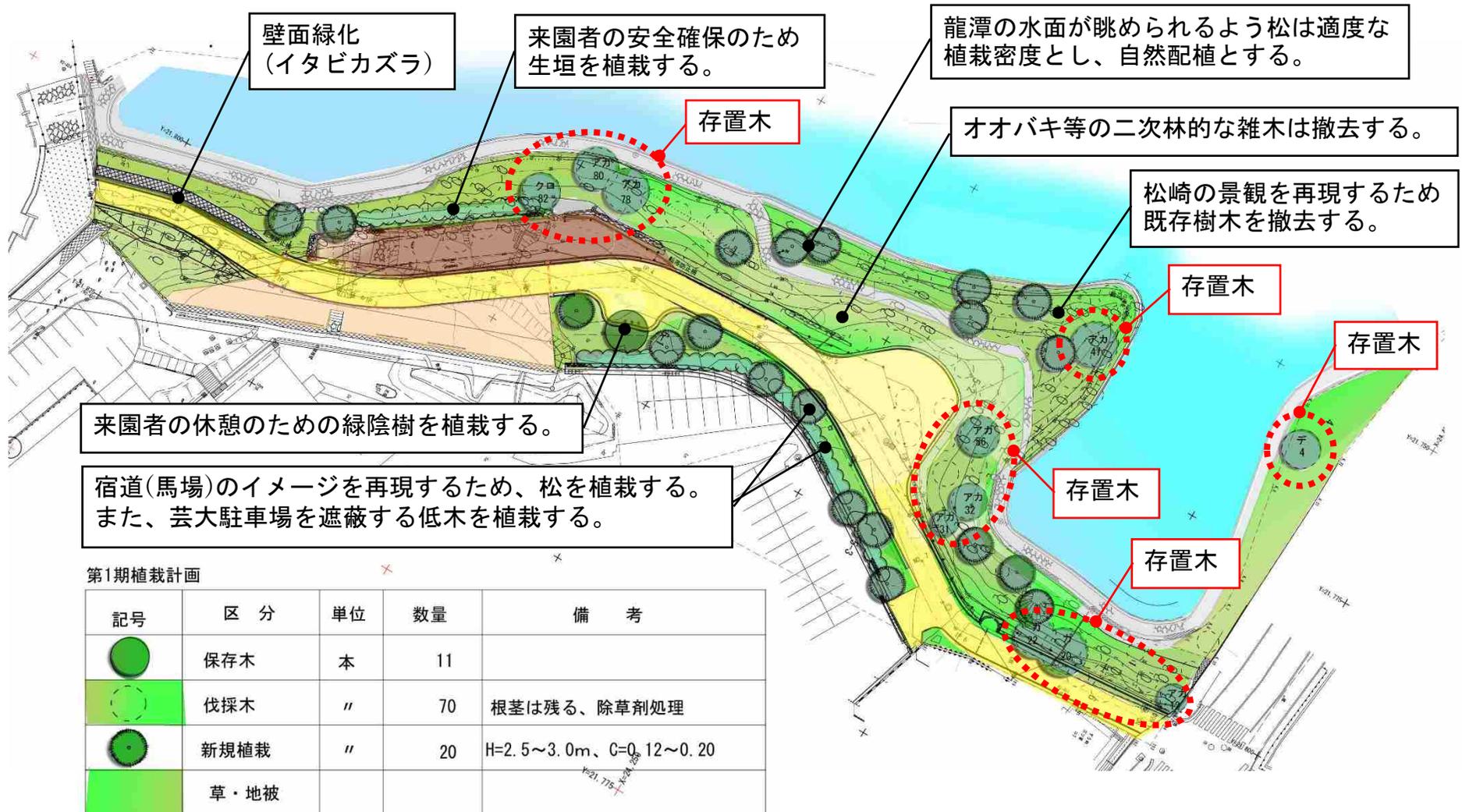
- ・龍潭の視界を遮っている樹木。
- ・景観面から見栄えのしない樹木や、オオバギなど二次植生を含む雑木。
- ・肥大した根が石積み等、既存施設を破壊している、あるいは将来的に破壊する恐れのある樹木。



※(一財)沖縄美ら島財団より提供の『首里城公園植栽管理図(H24年度～H26年度)』を元に整理。

# 松崎馬場の植栽計画について ※中城御殿跡地整備基本計画検討委員会資料から抜粋

## ■ 第1期 植栽計画図



# 松崎馬場の植栽計画について ※中城御殿跡地整備基本計画検討委員会資料から抜粋

## ■第2期 植栽計画図（第1期より10年後）

